

公益財団法人お金をまわそう基金

助成申請書

目次

- シート1 [基本情報](#)
- シート2 [組織運営](#)
- シート3 [助成申請する事業について①](#)
- シート4 [助成申請する事業について②](#)
- シート5 [例 基本情報](#)
- シート6 [例 組織運営](#)
- シート7 [例 助成申請する事業について①](#)
- シート8 [例 助成申請する事業について②](#)

必要添付書類

- 助成申請書（本紙）
- 定款
- 寄附に関する規定等
- 履歴事項全部証明書（最新のもの、交付から6ヶ月以内）
- 直近の決算書類(監事による監査報告書を含む)
- 当該事業年度の事業計画書、予算書
- 2018年12月1日から2019年11月30日の事業計画（予算計画を含む）
- ※申請内容（申請額やその内訳も含む）が決議されている書類でもよい
- 直近の議事録（社員総会/評議員会、理事会の書類及び、申請内容が決議された書類）
- 申請する事業の経費の見積書
- パンフレットやチラシ等の活動を紹介する資料

※上記の書類は提出に必要な書類となっておりますので不備がないようにお願いいたします。

送付先

〒102-0082 東京都千代田区一番町29番地2 公益財団法人お金をまわそう基金 宛

郵便事故を避けるため、送達を確認できる方法（簡易書留等）での送付をお勧めいたします。またメールでの受付は行っておりませんのでご了承ください。

お問い合わせ

公益財団法人お金をまわそう基金 事務局

〒102-0082 東京都千代田区一番町29番地2

TEL：03-6380-9864（平日10時から17時）FAX：03-6380-9865

Email info@okane-kikin.org

公式ホームページ <https://okane-kikin.org>

助成申請書

公益財団法人お金をまわそう基金 宛

西暦

年

月

日

団体名					
代表者	役職		フリガナ		
			氏名		
所在地	住所	〒 -			
	電話	()	FAX	()	
	ホームページアドレス				

申請にあたっての確約

次の内容をよくお読みいただき、該当するものすべてにチェック（レ点）を記入してください。

<input type="checkbox"/>	本申請にあたって、助成申請書の内容ならびに提出（添付）書類は正しいものであり、虚偽はない
<input type="checkbox"/>	当社（申請をする団体）の役員および関係者は、暴力団員・暴力団準構成員等の反社会的勢力には該当せず、かつ将来にわたっても該当しない
<input type="checkbox"/>	本事業は公益事業であり、個別の団体や個人に利益をもたらすものではない
<input type="checkbox"/>	本事業の申請額は、ほかの助成金や委託金を受け取るなどの重複はない（2重で金品を受け取っていない）

下記の事業に対し、助成を申請します。

1 助成を申請する事業

事業名称	
事業概要	

2 連絡先（申請担当者1を上記の団体の代表者としている場合は、申請担当者2にもご記入ください。）

申請担当者1	役職		フリガナ	
			氏名	
	電話	()	Email	
申請担当者2	役職		フリガナ	
			氏名	
	電話	()	Email	

3 助成を申請する分野

<input type="checkbox"/>	子ども	<input type="checkbox"/>	スポーツ	<input type="checkbox"/>	文化・伝統技術	<input type="checkbox"/>	地域経済・社会
--------------------------	-----	--------------------------	------	--------------------------	---------	--------------------------	---------

4 職員数

総数		人	常勤		人	非常勤		人
----	--	---	----	--	---	-----	--	---

申請事業の収支計画

5 助成金申請額

	円
--	---

6 事業の収支計画

(1) 収入

費目	金額 (円)	備考
助成申請額		
自己資金		
参加者等負担		
その他収入		
合計	0	

※「その他収入」は、他からの助成金などの合計数を記入してください。

(2) 支出

費目	金額 (円)	当財団助成金	備考 (内容を具体的に)
旅費交通費			
消耗品費			
印刷製本費			
通信運搬費			
借料・賃貸料			
業務委託費			
備品費			
謝礼金			
人件費 (事業費)			
人件費 (管理費)			
その他			
合計	0		

※「当財団助成金」の欄は、当財団から助成した金額を充てる予定の費用に○を付けてください。

※「人件費 (管理費)」の欄は、法人を運営するうえで恒常的に発生する費用を指しており、当財団の助成対象としておりませんが、収益事業がなく公益目的事業の割合が大きい場合は対象とします。しかし飲食などの会議費なども対象としておりません。

(3) 助成金がスケジュール通り交付されない場合の対応

当財団は助成先として団体を選定した後に、寄付活動を開始します。スケジュール通りに入金が行われない場合があります。その場合の対応方法についてご記入ください。

--

(4) 助成申請をした金額を満たさない場合の対応

当財団は助成先として団体を選定した後に、寄付活動を開始します。そのため、申請をした助成金額に満たない場合の対応方法についてご記入ください。

--

助成申請する事業について

7 事業名称

--

8 実施場所

--

9 事業の実施スケジュール

実施月	活動事項	活動の具体的な内容

※事業の実施スケジュールは当該年度12月1日から翌年11月30日までの活動を記載ください。

※今年度は2018年12月1日から2019年11月30日までの活動を記載ください。

助成申請する事業について

11 事業内容

(1)事業の背景・必要性・目的

(2)事業の成果や効果（目標）

助成申請書

公益財団法人お金をまわそう基金 宛

西暦 2018 年 9 月 1 日

団体名	公益財団法人お金をまわそう基金			
代表者	役職	代表理事	フリガナ	オカネ タロウ
			氏名	お金 太郎
所在地	住所	〒102-0082 東京都千代田区一番町29番地2		
	電話	03 (6380) 9864	FAX	03 (6380) 9865
	ホームページアドレス	https://okane-kikin.org		

申請にあたっての確約

次の内容をよくお読みいただき、該当するものすべてにチェック（レ点）を記入してください。

レ	本申請にあたって、助成申請書の内容ならびに提出（添付）書類は正しいものであり、虚偽はない
レ	当社（申請をする団体）の役職員および関係者は、暴力団員・暴力団準構成員等の反社会的勢力には該当せず、かつ将来にわたっても該当しない
レ	本事業は公益事業であり、個別の団体や個人に利益をもたらすものではない
レ	本事業の申請額は、ほかの助成金や委託金を受け取るなどの重複はない（2重で金品を受け取っていない）

下記の事業に対し、助成を申請します。

1 助成を報告する事業

事業名称	より良い世の中づくりをするための課題に取り組む団体等への助成する事業
事業概要	助成事業を通じて、より良い世の中づくりをするための課題に取り組む団体（NPO法人・一般社団法人など）への必要な資源である「お金」を循環させる仕組みをつくり、心豊かな社会の想像に寄与することを目的とします。寄付の新しい仕組みとして、寄付金は運営費や手数料を差し引くことなく、すべて助成団体へお届けします。

2 連絡先（申請担当者1を上記の団体の代表者としている場合は、申請担当者2にもご記入ください。）

申請担当者1	役職	事務局長	フリガナ	オカネ ジロウ
			氏名	お金 次郎
	電話	03 (6380) 9864	E-mail	info@okane-kikin.org
申請担当者2	役職	コンプライアンス	フリガナ	オカネ サブロウ
			氏名	お金 三郎
	電話	03 (6380) 9864	E-mail	info@okane-kikin.org

3 助成を申請する分野

<input checked="" type="checkbox"/>	子ども	<input type="checkbox"/>	スポーツ	<input type="checkbox"/>	文化・伝統技術	<input type="checkbox"/>	地域経済・社会
-------------------------------------	-----	--------------------------	------	--------------------------	---------	--------------------------	---------

4 職員数

総数	4	人	常勤	2	人	非常勤	2	人
----	---	---	----	---	---	-----	---	---

申請事業の収支計画

5 助成金申請額

1,500,000 円

6 事業の収支計画

(1) 収入

費目	金額 (円)	備考
助成申請額	1,500,000	子どもの貧困に対する助成金として
自己資金	660,000	
参加者等負担		
その他収入	4,500,000	〇〇財団から組織基盤構築のための助成金を申請中
合計	6,660,000	

※「その他収入」は、他からの助成金などの合計数を記入してください。

(2) 支出

費目	金額 (円)	当財団助成金	備考 (内容を具体的に)
旅費交通費	160,000		〇〇財団から160,000円
消耗品費	4,000		〇〇財団から4,000円
印刷製本費	3,000		〇〇財団から3,000円
通信運搬費	10,000		〇〇財団から10,000円
借料・賃貸料	80,000		〇〇財団から80,000円
業務委託費	100,000		〇〇財団から100,000円
備品費	3,000		〇〇財団から3,000円
謝礼金	0		
人件費 (事業費)	3,800,000		〇〇財団から3,800,000円
人件費 (管理費)	1,000,000		自己資金660,000円、〇〇財団から340,000円
その他	1,500,000	○	子どもの貧困に対する助成金として
合計	6,660,000		

※「当財団助成金」の欄は、当財団から助成した金額を充てる予定の費用に○を付けてください。

※「人件費 (管理費)」の欄は、法人を運営するうえで恒常的に発生する費用を指しており、当財団の助成対象としておりません。また、飲食などの会議費なども対象としておりません。

(3) 助成金がスケジュール通り交付されない場合の対応

当財団は助成先として団体を選定した後に、寄付活動を開始します。スケジュール通りに入金が行われない場合があります。その場合の対応方法についてご記入ください。

入金の確認がとれるまで、自己資金を使用する。

(4) 助成申請をした金額を満たさない場合の対応

当財団は助成先として団体を選定した後に、寄付活動を開始します。そのため、申請をした助成金額に満たない場合の対応方法についてご記入ください。

一部、自己資金を使用する。

助成申請する事業について

7 事業名称

より良い世の中づくりをするための課題に取り組む団体等への助成する事業

8 実施場所

助成先団体及び寄付は全国から募集をする。

9 事業の実施スケジュール

実施月	活動事項	活動の具体的な内容
2018/12/1	助成先団体募集	ホームページ等で募集をする。また助成説明会も実施する。
2019/1/15	助成選考委員会	応募の中から助成先団体を選考する。
2019/2/1	寄付受付け開始	助成先団体認定後、当財団ホームページに各団体の紹介ページを作成し寄付を募集する。
2019/5/10	助成先団体との共同セミナー	貧困問題に取り組む助成団体の活動を紹介するセミナーを開催。
2019/7/15	助成先団体との共同セミナー	虐待問題に取り組む助成団体の活動を紹介するセミナーを開催。
2019/9/20	助成先団体との共同セミナー	ファミリーホーム、里親支援に取り組む助成団体の活動を紹介するセミナーを開催。
2019/10/15	助成先団体との共同セミナー	進学に関わる支援に取り組む助成団体の活動を紹介するセミナーを開催。
2019/11/30	お金をまわそう基金報告会	寄付者に対して事業の報告会を行う。

※事業の実施スケジュールは当該年度12月1日から翌年11月30日までの活動を記載ください。

※今年度は2018年12月1日から2019年11月30日までの活動を記載ください。

助成申請する事業について

12 事業内容

(1)事業の背景・必要性・目的

寄付で世の中を良くしていくことを目標に活動している助成財団です。世の中で頑張っている団体をしっかりと継続した支援をすることでお金をまわし、より良い社会・経済をつくるのを目的としています。

当財団は助成先団体を責任をもって選び、世の中に知っていただく活動をしています。寄付金100%助成先団体に届くように設計しています。「社会を良くしよう!」「世の中を変えよう!」という支援者の想いとお金を一緒に届けられる寄付のポータルサイトと言えます。

支援者からの寄付は当財団を通して、そのまま全額支援団体へと届けられます。お預かりする寄付金から手数料や運営費などを差し引くことはありません。

当財団の助成事業は毎年12月1日から翌年11月30日に実施される事業を助成します。

助成団体は選考委員会で選考し、認定しております。選考委員会は子ども分野や団体運営の専門家で構成されています。

助成団体から事業中間報告と事業完了報告を提出してもらいます。提出していただいた書類をもとに申請された事業が計画通り進行し、実施されたかなどを確認します。その後寄付者向けに活動報告書を発行し、ホームページ等で公開します。

助成団体認定後、活動の紹介及び寄付をより多く募るためにセミナー事業を行います。実施する時期についてはスケジュール通りです。

寄付していただいた方と一緒に助成先団体の活動に参加するなど直接的な関係作りも積極的に進めています。

「新しい寄付のしくみ」で日本での寄付の文化を高め、広く社会を巻き込むことでより良い世の中を創っていきます。

(2)事業の成果や効果(目標)

寄付の文化を高めることで社会のあちこちで地道に社会的活動をしている団体に、どんどんお金をまわすべく、広く個人や企業から寄付を集め、日本社会の隅々で地道に頑張っている組織や団体を通じて、多くの人々のお役に立てられます。同時に、日本経済の活性化にも貢献できます。

子育ては日本の未来を支えるとても重要な活動です。様々な問題を抱えた「日本の子ども問題」に、しっかりと向き合い、がんばっている人へ継続的に支援を実施することで、10年後、20年後の日本を支えることにつながると考えています。日本社会を良くするということは、次世代にとって暮らしやすい社会を築くことです。国や政治に頼るのではなく、一人ひとりがこれからの社会を支えていく意識を高めて子どもを支える。日本を支える。

当財団では子供の虐待問題・貧困問題・里親問題などへの対策を「慈善事業」ととどまらず、「将来への投資」と位置づけて、継続的に分厚い支援をすることで未来の日本を支え、若い世代を育てることが目標です。

今年度は3団体を助成することが目標です。

当財団は寄付者へ活動報告やホームページでより詳細に公開することで寄付金がどのように使用されたかを明確にしています。そうすることで継続した寄付が受けられるようになり、寄付文化の醸成にもつながります。